

みんなちがう。わたしはどう生きる？ ——ライシテ×アート×死生学で考える

“自分らしい生き方”

二館連携版

ライシテは、宗教や文化の異なる人々が集まるフランス社会で、だれもが安心して暮らしていける方法を見つけるための考え方とも言えます。この視点はフランスだけでなく、今の日本でも大切なテーマになっています。

「みんなが安心して生きられる社会ってどんなもの？」

「その中で自分はどう生きていきたい？」

そんな問いを、アートと「ライシテ」を手がかりに、参加者のみなさんと一緒に考えるプログラムです。

昨年開催した企画展「ライシテからみるフランス美術—信仰の光と理性の光」に合わせて12月20日に実施したプログラムを発展させたもので、今回はフランスの「ライシテ」についてのミニ・レクチャーや、展覧会の巡回先である三重県の高校生とのオンラインでの対話も行います。

対象：高校生（ライシテ展を見ていない方でもご参加できます）

【会場】宇都宮美術館 講義室（宇都宮の高校生は、講義室からオンライン参加）

【日時】2026年3月8日(日) 13:40～15:30

【進行・説明】村上恵理（NHO 栃木医療センター 放射線科医長／とちぎ死生学研究会 共同代表）、鈴木麻里子（三重県立美術館学芸員）、藤原啓（宇都宮美術館学芸員）

【応募】欄外右下のQRコードリンク先の応募フォームから応募。

【定員】10名程度

【締切】3月5日（木）17:00まで

【お問合せ】宇都宮美術館学芸課 ライシテ展高校生プログラム係 TEL.028-643-6845



〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町1077番地
TEL.028-643-0100[代]/FAX.028-643-0895
ホームページ・アドレス ≡ <http://u-moa.jp>



応募フォーム